



photo by BotBln CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

○ ゴカヒ（五加皮）

語源

ウコギ属 *Acanthopanax* は「刺、針」(akantha) + 「オタネニンジン属」*Panax* に由来し、すなわちオタネニンジン属 *Panax* に近縁で茎に刺針があることにちなむ。種小名 *gracilistylus* は、*gracilis* 「か細い、ほっそりした、華奢な」 + *stylus* 「花柱」で、「細い花柱」という意味。

和名のウコギは、ウコギが中国原産の植物であり、中国名の五加が唐音でウコと読まれ、それに木をつけて「ウコの木」になり、この名がある。また平安時代初期の「本草和名」(918年)に牟古岐(ムコギ)が登場し、これが転訛してウコギになった説もある。

基原

Acanthopanax gracilistylus
(= *Eleutherococcus nodiflorus*) ウコギ

ウコギ科 落葉低木

このほか中国ではウコギ(*Acanthopanax*)属の幹皮や根皮を「南五加皮」として用いることがある。一方、ガガイモ科のクロバナカズラ *Periploca sepium* Bunge ([中] 杠柳)の根皮である香加皮を「北五加皮」ともいう。



薬用部分

根皮

産地

中国(湖北、河南など)

主な成分

ステアリン酸、d-セサミン、β-シトステロール、シリンギン、β-シトステロール・グルコシド、エリューテロシドB1、16-α-ヒドロキシ(-)-カウラン-19-カルボン酸、そのほか精油、樹脂類

南五加皮の薬性はおだやかであるが、香加皮(北五加皮)には強心配糖体のペリプロシンが含まれ、使用量が多くなると中毒をおこすことがあるので、注意が必要である。

主な薬効

強壯、利尿、去湿、鎮痛

代表的処方

漢方では、去風湿、駆瘀血、活血、強壯薬として処方中に配合され、リウマチ、筋骨の疼痛、腰痛、水腫、脚気等に応用され、一般には下半身に作用する強壯、鎮痛薬として応用される。中国では不老長寿の薬とされている。

【五皮飲】

ゴヒイン
軽症の水腫、尿量減少に用いる
(処方内容) 五加皮/茯苓皮/大腹皮/生姜皮/陳皮

【五加皮散】

ゴカヒサン
妊娠時の腰部劇痛、股に放散する腰痛を治す
(処方内容) 炒杜仲、五加皮、炙阿膠、防風、狗脊、川芎、白芍薬、細辛、草薢、杏仁

(注) 狗脊(クセキ)：ヘゴ科 *Cibotium barometz* (L.) J. Sm. (タカラビ)の根茎を乾燥したもの
草薢(ヒカイ)：ヤマノイモ科 *Dioscorea sativa* L. の地下根茎を乾燥したもの

※参考文献：「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「日本薬草全書」「植物学ラテン語辞典」「漢薬の臨床応用」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562
URL: www.fukudaryu.co.jp